

令和3年度 公益社団法人上牧町シルバー人材センター 事業計画

基本方針

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込み、多くの失業者を生むこととなった国の経済も、令和3年度以降は徐々に回復することが望まれるところです。

当センターの状況としては、全般的には昨年度並みの受注が継続する見込みであり、さらに経済回復に伴い、人手不足分野においては高齢者の労働力への需要がさらに増すことが考えられます。しかしながら、「会員の高齢化」「会員不足」が深刻であるため、本年度も、会員拡大、就業拡大、安全適正就業の徹底を課題とし、精力的に普及啓発活動、就業開拓活動と新入会員の入会勧奨を推進します。また、ウイズコロナの状況がしばらく続くことから、特に高齢者である会員が健康維持できるよう、関連情報の提供や注意事項を周知することに注力します。

高齢者が健康で意欲と能力のある限り、年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現のため、本来のシルバー人材センター事業の目的である「高齢者が知識、経験等を生かし働くことで収入を得るのみならず、健康・生きがい・社会貢献につながる就業」を目指し、引き続き、センター運営の効率化を図りつつも、会員に寄り添えるセンターとなり、センター事業の活性化を推進することで、活力ある地域社会づくりに貢献できるよう努めてまいります。

事業活動の取り組み

(1) 会員拡大

健康で働く意欲のある高齢者を対象に、事業の周知や新規入会のため定期的な入会説明会を月2回程度開催するほか、広報活動や口コミなどによって入会勧奨を積極的に推進します。また、新規入会者への早期就業提供を行うことで、退会抑制やセンターへの定着を図ります。

(2) 就業機会拡大・提供

チラシ・パンフレット等の町内全域配布や就業開拓員による訪問により、請負・派遣の各分野において、公共および民間事業所、町内各家庭からの受注確保に努めます。独自事業のさをり織り・衣類のお直し・パソコン講習等については、事業内容を見直しながら、今後も会員の自主性を尊重した運営を展開します。

(3) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の実施

人手不足分野や現役世代を支える分野で就業する機会を提供する事業として派遣就業は年々増加しており、事業全体の4割を超えています。労働者派遣法に基づく事業であるため、今後も奈良県シルバー人材センター協議会と連携をとり指導を受けながら、慎重かつ適正に実施します。

(4) 普及啓発活動

事業全般に対する地域の理解と協力を得るための広報活動として、毎月発行の「シルバー人材センターからのお知らせ」を町内全域へ配布します。ホームページを有効活用し、センターのしくみ・会員募集・仕事の紹介など、できるだけわかりやすく情報発信します。また、会員の協力を得て、口コミでの知人・友人への入会勧奨も継続します。上牧町の「ペガサスフェスタ」等のイベントに積極的に参加し機会あるごとにセンターのPRを図ります。

(5) 「かんまきシルバープラザ」の活動

障害者福祉センターに設置する「かんまきシルバープラザ」では、高齢者の就労や社会参加等についての相談、情報提供サービスや、センター利用者の受注取り次ぎを行う等、地域密着の窓口として、また「衣類のお直し」事業の拠点として活動を継続します。

(6) 技能講習

地域の高齢者への技能付与を目的とした講習会及び技能職種の会員拡大及び後継者育成のための講習会・体験会を職種別に実施します。

また、継続就業が見込める派遣会員に対して、労働者派遣法に基づき教育訓練を実施します。

(7) 安全適正就業と健康維持

会員は、会員就業規約や安全就業基準に基づき、健康確保と事故防止に努めることとし、仕事中及び就業先への往復途上の安全確保についても、会員の自覚を促すとともに安全・適正就業推進員、安全コンサルタント等による指導により、「安全はすべてに最優先」をモットーに、事故減を目指します。安全推進体制として安全委員会、安全就業推進員を設置しています。また、「全国安全週間」に合わせ、7月を「安全就業強化月間」に設定し、安全パトロール、講習会実施などを実施します。

また、適正就業ガイドラインの内容についても引き続き、会員、発注者に周知し法令遵守のもと事業を推進します。

(8) 社会奉仕活動の推進

地域から信頼されるセンターをめざし会員が地域との絆を強め、地域社会に貢献出来るよう会員個人へ促すとともに、センターとしても「シルバーの日」の町内清掃活動や、世代間交流を図るため、シルバー農園で幼稚園児と会員・役員と一緒に「芋掘り」を実施するなど、組織的なボランティア活動を実施します。